

緊急消毒の実施

現在、道内では、高病原性鳥インフルエンザの発生リスクが極めて高い状況が継続しています。

本病の発生予防に万全を期すため、家畜伝染病予防法に基づき、緊急消毒を命じますので、家畜保健衛生所の指導に従い、消毒の徹底をよろしく願います。

なお、必要な消毒薬の一部は道が配布します。

1 農場に出入りする車両の消毒を実施



※特にタイヤまわりの消毒を実施

2 農場・畜舎に出入り時、長靴、資材等の消毒を実施



※汚れをしっかりと落として消毒を実施

3 畜舎に出入りする者の手指消毒を実施



使い捨てではない手袋を使用する場合、手袋にも病原体は付着しますので注意してください。

消毒薬の例



500倍希釈
で使用
(1Lに2g)

次亜塩素酸系消毒薬

又は



500倍希釈で使用
(1Lに2ml)

逆性石鹼



直接噴霧
して使用

アルコール系消毒薬

関係各位(別記)

北海道農政部食の安全推進監

令和4年度における高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の徹底について
日頃より本道の家畜衛生の推進に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

このことについて、別添のとおり農林水産省消費・安全局長から通知がありましたので
お知らせします。

昨シーズン、国内では、家きん飼養農場における本病の発生が12道県で25事例確認され、
また、欧州や北米では、これまでと異なり、夏季になっても発生が継続しているところ
です。

このような状況の中、本年9月23日、韓国京畿道龍仁(ヨンイン)市で採取された野鳥の糞便からのH5亜型鳥インフルエンザウイルスの抗原検出事例や、さらに、26日には、
神奈川県で回収された死亡野鳥からA型インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された事例が
プレスリリースされるなど、今シーズンも厳重な警戒が必要な状況です。

また、先般、農林水産省が、「2011年～2022年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生に係る第2回疫学調査チーム検討会をふまえた疫学調査報告書」を公表し、
昨シーズンの本病の発生を踏まえた発生予防対策が提言されたところです。

つきましては、渡り鳥の飛来が本格化するにあたり、提言の内容も踏まえた次の取り組みについて、
貴会構成員等に改めて周知いただきますとともに、本病の防疫に万全を期すため、引き続き、
発生予防及びまん延防止に御協力をお願いします。

記

1 発生予防対策

(1) 農場へのウイルス侵入防止対策

ア 農場内及び農場周辺の水域の対策

農場敷地内や家きん舎の近隣にため池がある場合、野鳥が当該ため池に飛来し一定期間中の活動拠点となっている場合があるため、忌避テープやてぐす、ネット等の設置及びため池の水を抜く等による野鳥の飛来防止対策を徹底すること。

イ 農場への野生動物の侵入防止対策

家きんの死体等は、野生動物への誘因となることから、有蓋の箱や防鳥ネットなどの対策を講じた上で適切に保管すること。

堆肥舎等の飼養管理者が日常的に出入りする農場内施設の汚染は、家きん舎へウイルスを持ち込む要因となることから、これらの農場内施設についても、防鳥ネット等の野生動物侵入防止対策を講じること。

(2) 家きん舎へのウイルス侵入防止対策

ア 家きん舎内用の長靴への履き替え、手指消毒・手袋の交換

家きん舎周囲に本病ウイルスが存在している可能性が高いこと、家きん舎外で使用した長靴や手指には本病ウイルスが付着している可能性が高いことを念頭に、鶏舎に出入りする際は、長靴の履き替え、手指の消毒、手袋の交換を徹底すること。

長靴の履き替えについては、履き替え場所をすのこ等で区切る等、履き替え前後の交差汚染防止対策を徹底するとともに、作業前後の長靴の消毒を徹底すること。

イ 家きん舎へのネズミ・野鳥等の野生動物の侵入防止のための修繕

鶏舎等の施設の壁面や屋根、防鳥ネット等を点検し、ねずみや小型の野鳥が侵入する可能性がある破損の有無について確認するとともに、破損等があった場合は速やかに破損箇所を修繕すること。特に、鶏舎に集卵又は鶏糞排出に係る機器等の設置に伴う開口部がある場合、野生動物の侵入の原因になるため、金網やパネルの設置等により隙間をふさぐ策を講じること。

(3) 大型家きん（だちょう、エミュー）について

エミュー等の大型家きんについては、野外での飼育を行うことがあるが、本病ウイルスを保有する野鳥が飛来するシーズンにおいては、屋内飼育等の野鳥と接触しないような飼養管理を行うこと。

2 異常家きんの早期発見・早期通報

平時から飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに、飼養する家きんの健康状態を注意深く観察するとともに、死亡羽数の増加等の異状が確認された場合は、直ちに家畜保健衛生所へ通報すること。特に大型家きんについては、明確な死亡の増加が確認されない事例の報告もあることから、本病を強く疑わない死亡事例であっても、家畜保健衛生所へ連絡し、状況を報告すること。

3 自己点検の実施

令和4年10月から5月までの間、家きん飼養農場においては、農場の衛生管理のうち、特に本病の侵入防止に係る項目について自己点検を実施（別添リーフレット参照）の上、不備がある箇所を直ちに改善するとともに、100羽以上の家きんを飼養する農場は、毎月、自己点検結果を最寄りの家畜保健衛生所に報告すること。

連絡先
生産振興局畜産振興課家畜衛生係 主査（防疫）
TEL：011-231-4111（内線 27-783）
Mail：hayakawa.jun@pref.hokkaido.lg.jp

家きん所有者のみなさまへ

これから、渡り鳥の飛来が本格化しますが、昨シーズンと同様に、多くの高病原性鳥インフルエンザウイルスが道内に持ち込まれ、農場周囲にまでウイルスが来る可能性が高いことが危惧されています。本病の発生防止には、鶏舎内に持ち込むウイルス量の低減が重要です。毎月、下記の衛生管理対策の実施状況の自己点検を行い、不備がある場合は直ちに改善してください。

自ら対策を再点検してチェックしてください



点検1 衛生管理区域に出入りする際の対策

- ① 区域内に出入りする際、手指消毒（手袋装着）をしている →
- ② 区域内に出入りする際、専用の衣服と長靴を使用している →
- ③ 区域内に出入りする車両の消毒を徹底している →



出入口に消石灰散布



車両消毒



手指消毒



専用衣服



専用長靴

点検2 鶏舎に出入りする際の対策

- ④ 鶏舎に出入りする際、手指消毒（手袋装着）をしている →
- ⑤ 鶏舎の前室や出入り口で、専用長靴に履き替えている →



手指消毒



畜舎周辺への消石灰散布



畜舎専用長靴の設置・使用・消毒



点検3 野鳥・野生動物を誘引・侵入させない対策

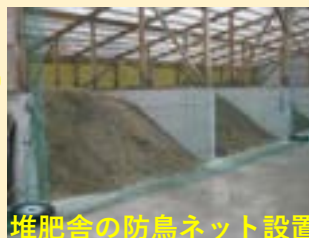
- ⑥ 鶏舎、飼料庫、堆肥舎にネット設置、点検と修繕をしている →
- ⑦ 鶏舎に侵入したねずみを定期的に駆除している →



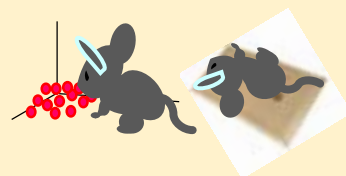
畜舎のネット整備と点検



畜舎の隙間対策



堆肥舎の防鳥ネット設置



殺鼠剤の散布や粘着シートによる駆除

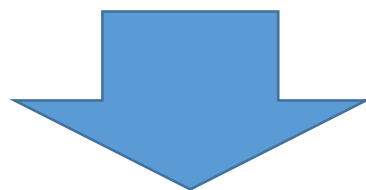


高病原性鳥インフルエンザに 嚴重警戒！！



10月8日に北海道別海町で回収された野鳥糞便から、
高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が
検出されました（今シーズン道内初）

野鳥における検出事例は
氷山の一角であり、
北海道内全域にウイルスが
存在している認識での対策が
必要です！！



- 自己点検を継続実施！！
- 異常家きんの早期発見、
早期通報！！

家きん衛生管理の自己点検

自ら農場を点検して再チェック！！



点検1 衛生管理区域に出入りする際の対策

- ① 区域内に出入りする際、手指消毒（手袋装着）をしている
- ② 区域内に出入りする際、専用の衣服と長靴を使用している
- ③ 区域内に出入りする車両の消毒を徹底している



出入口に消石灰散布



車両消毒



手指消毒



専用衣服



専用長靴

点検2 鶏舎に出入りする際の対策

- ④ 畜舎に出入りする際、手指消毒（手袋装着）をしている
- ⑤ 畜舎に出入りする際、専用長靴を使用している



手指消毒



畜舎周辺への消石灰散布



畜舎専用長靴の設置・使用・消毒



点検3 野鳥・野生動物を誘因・侵入させない対策

- ⑥ 侵入防止のためのネット設置、破損部位の修繕をしている
- ⑦ 畜舎に侵入したねずみを定期的に駆除している



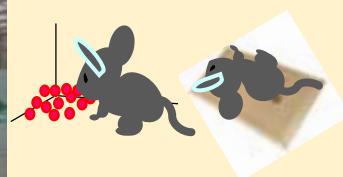
畜舎のネット整備と点検



畜舎の隙間対策



堆肥舎の防鳥ネット設置



殺鼠剤の散布や粘着シートによる駆除

高病原性鳥インフルエンザ対策の 継続強化！！

- ✓ 国内で、過去最多となる、25道県71事例で発生！
- ✓ 2月以降は、渡り鳥の北帰行に伴い、
本病の発生リスクがさらに増加！
- ✓ 今後も、最大限の警戒継続が必要！

① 鶏舎への野生動物の侵入防止対策を継続強化！

鶏舎の壁や屋根が破損していると、野生動物が侵入します。

冬期間の暴風雪による鶏舎の破損状況を確認し、補修・修繕を行ってください。
特に、普段目の届きにくい部分(屋根裏の入気口等)も含め、念入りにチェックしてください。

※ 確認に当たっては、複数名で行う等、落雪事故防止の対策をお願いします。



- ネット網目は2cm以下とし、2cm以上の場合はネットを二重にする。
- 畜舎に集卵ベルトや飼料パイプ、堆肥排泄ためのコンベア一等の開口部がある場合、野生動物が侵入する隙間がしやすいので、パネル等を設置する。

② 長靴の履き替えと手指の消毒を継続強化！

野外を歩いた長靴には鳥インフルエンザウイルスが付着している可能性があります。**畜舎専用長靴の使用と消毒**を、**農場で作業する方全員が**徹底してください。直接家きんに触れる手指にもウイルスは付着します。**手指消毒**や**作業用手袋の消毒**等を徹底してください。



手指消毒



専用長靴の使用と消毒



長靴は汚れを落とす！
消毒薬は毎日交換！

③ 農場への野生動物の誘因防止対策を継続強化！

家きんの死体や排せつ物は、野生動物への誘因となります。

家きんの死体は、密閉できる箱等で適切に保管しましょう。

堆肥舎等の農場内施設についても、**野生動物誘因防止のため、防鳥ネット**等を設置しましょう。



密閉容器の設置



堆肥舎の防鳥ネット設置

④ ため池等への野鳥の飛来防止対策を継続強化！

農場の敷地内や鶏舎の近くにため池等があると、この野鳥が農場の敷地内にウイルスを含む糞便を落とす可能性が高くなりますので、**ため池の水を抜いたり、忌避テープやてぐす、ネット等を活用し、野鳥の飛来を防止しましょう。**



ため池の水抜き



忌避テープの活用

**自己点検の継続実施！直ちに改善！
異常家きんの早期発見・早期通報！**

豚熱飼養豚発生県、野生イノシシ発生県、予防的ワクチン接種推奨地域

○ 予防的ワクチン接種の対象地域は、防疫指針に基づき、以下を考慮し、牛豚等疾病小委員会で議論した上で設定。

- ① **野生イノシシにおける豚熱感染状況**
- ② 農場周辺の**環境要因**（野生イノシシの生息状況、周辺農場数、豚等の飼育密度、山、河川の有無等の地理的状況）
- ③ 疫学的リスク低減のため、**まだら打ちを避ける**（面的に接種し順に拡大）

飼養豚陽性発生県：赤色（ただし、斜線は、令和4年度以降発生なし。）

【18都県】（飼養頭数 2,662,550頭(全国の29.8%)）

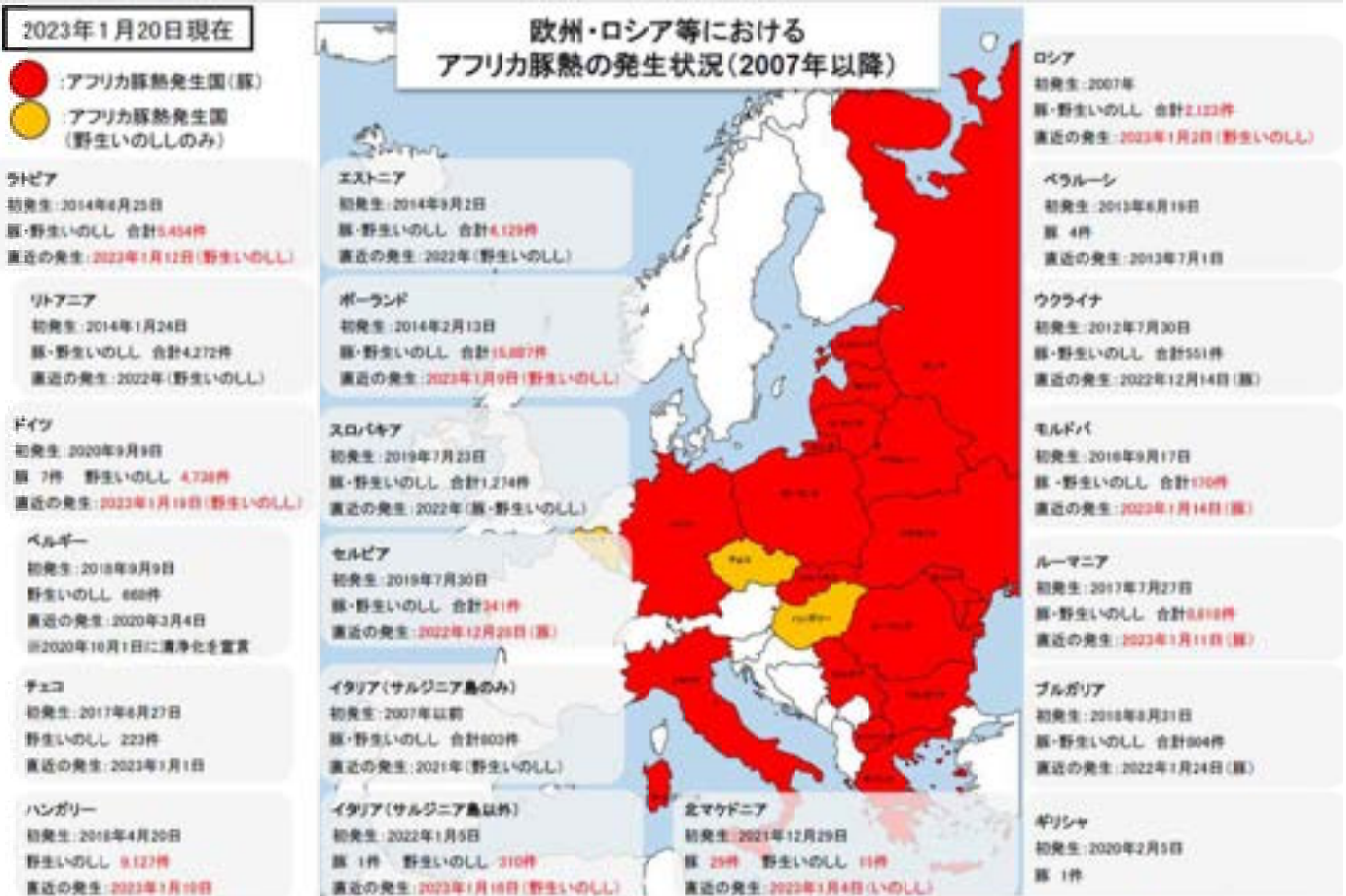
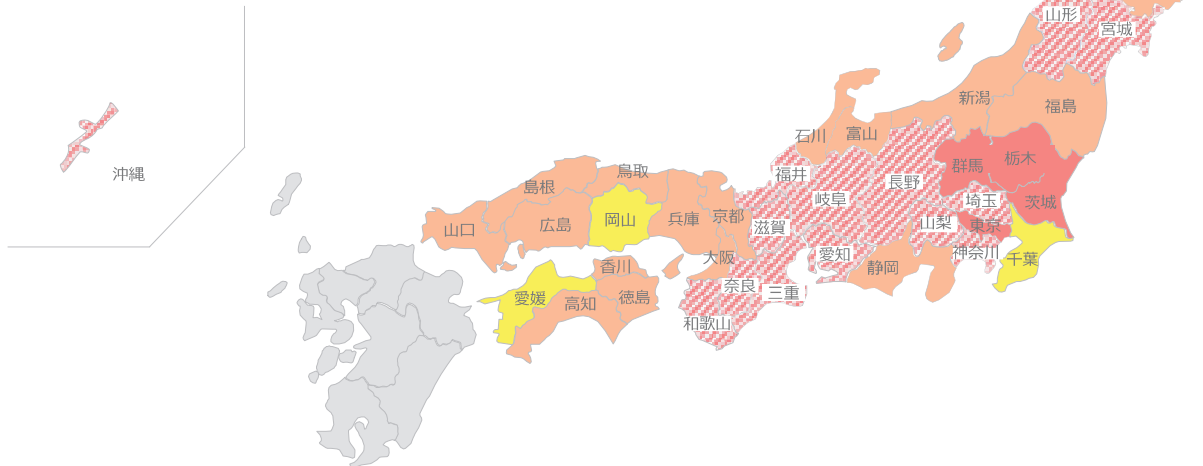
野生イノシシ陽性発生県：赤色(沖縄を除く) 橙色

【34都府県】（飼養頭数 4,028,930頭(全国の45.0%)）

飼養豚へのワクチン接種推奨地域：赤色 橙色 黄色

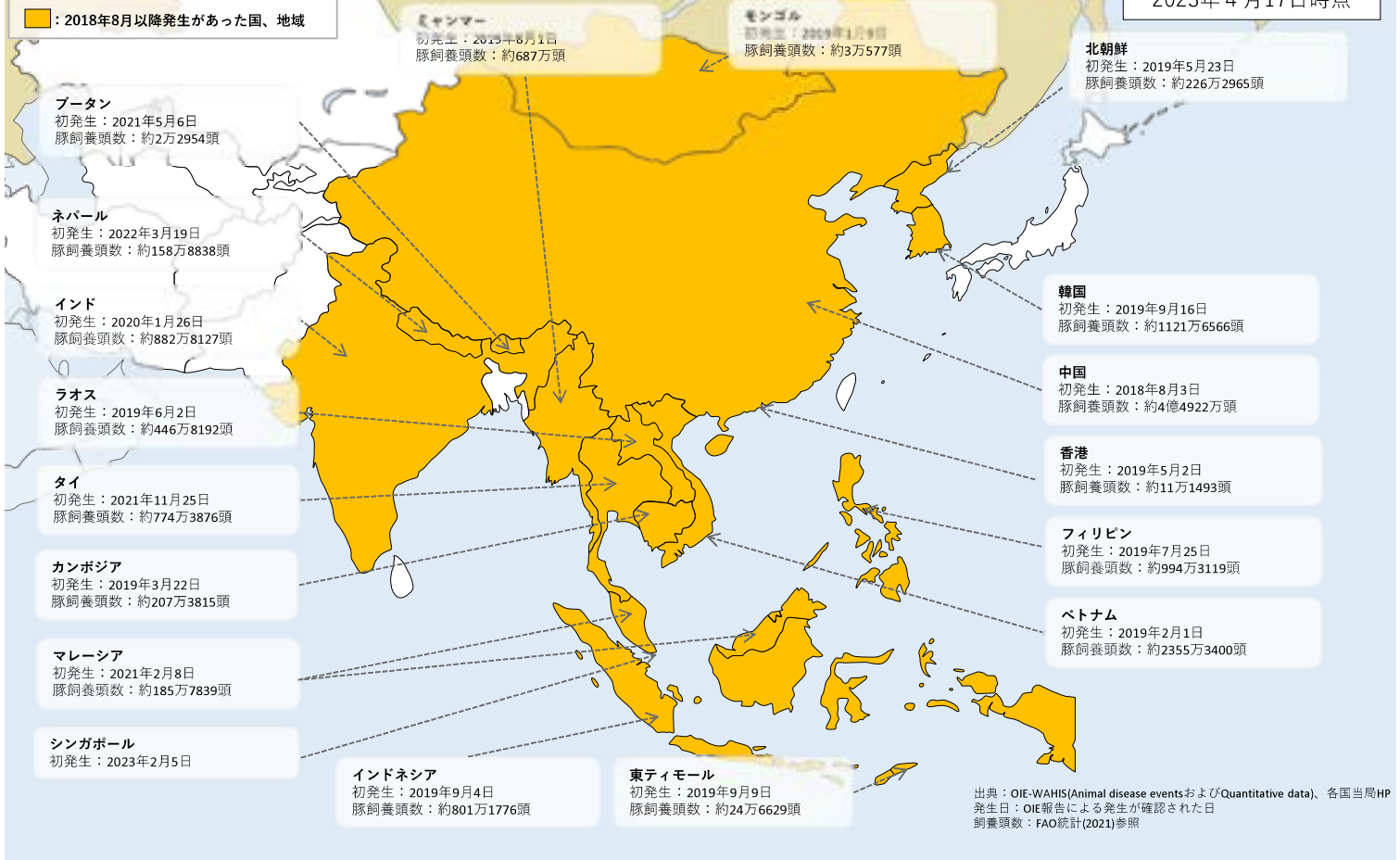
【39都府県】（飼養頭数 5,421,130頭(全国の60.6%)）

※飼養頭数は、R4 畜産統計・確報値を基に計算



アジアにおけるアフリカ豚熱の発生状況

2023年4月17日時点

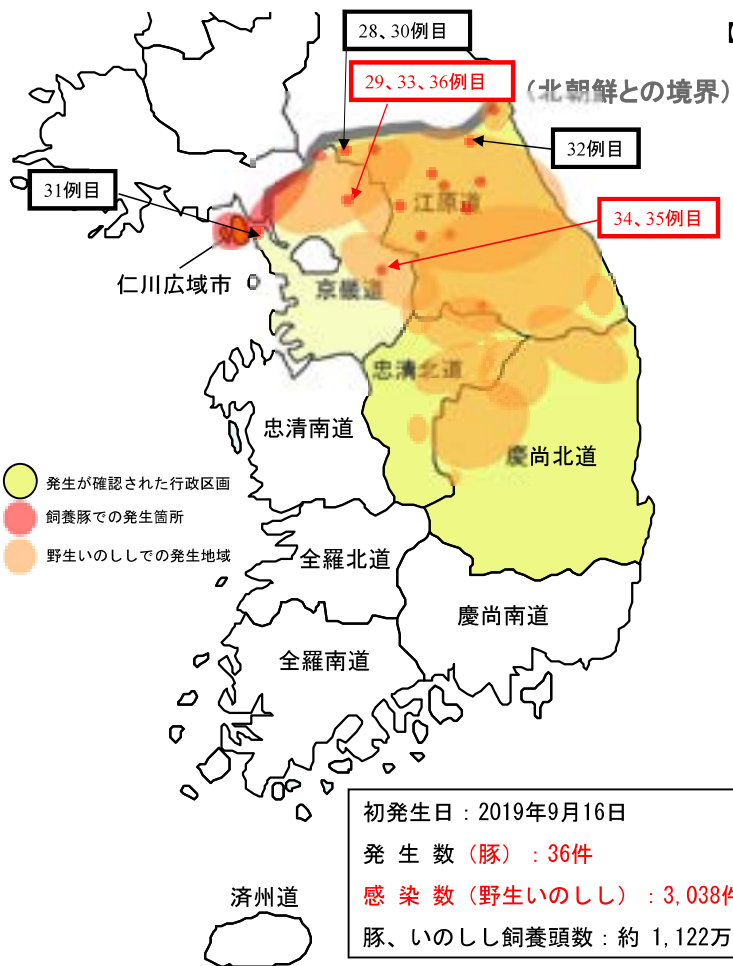


【飼養豚での事例】

事例	発生日	発生地域
1	2019/9/16	京畿道坡州市
2	2019/9/17	京畿道漣川郡
3	2019/9/23	京畿道金浦市
4	2019/9/23	京畿道坡州市
5	2019/9/24	仁川広域市江華郡
6	2019/9/25	仁川広域市江華郡
7	2019/9/25	仁川広域市江華郡
8	2019/9/26	仁川広域市江華郡
9	2019/9/26	仁川広域市江華郡
10	2019/10/1	京畿道坡州市
11	2019/10/1	京畿道坡州市
12	2019/10/2	京畿道坡州市
13	2019/10/2	京畿道金浦市
14	2019/10/9	京畿道漣川郡
15	2020/10/8	江原道華川郡
16	2020/10/9	江原道華川郡
17	2021/5/4	江原道寧越郡
18	2021/8/7	江原道高城郡
19	2021/8/15	江原道麟蹄郡
20	2021/8/25	江原道洪川郡
21	2021/10/5	江原道麟蹄郡
22	2022/5/26	江原道洪川郡
23	2022/8/18	江原道楊口郡
24	2022/9/18	江原道春川市
25	2022/9/19	江原道春川市
26	2022/9/28	京畿道金浦市
27	2022/9/28	京畿道坡州市
28	2022/11/9	江原道鉄原郡
29	2023/1/6	京畿道抱川市
30	2023/1/11	江原道鉄原郡
31	2023/1/22	京畿道金浦市
32	2023/2/11	江原道楊陽郡
33	2023/3/19	京畿道抱川市
34	2023/3/29	京畿道抱川市
35	2023/3/31	京畿道抱川市
36	2023/4/14 (公表日)	京畿道抱川市

韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況

2023年4月14日時点



【野生イノシシでの事例】(単位：件)

道	市/郡/区	件数
京畿道	坡州市	100
	漣川郡	418
	抱川市	94
	加平郡	62
	鉄原郡	37
	華川郡	425
	春川市	222
	楊口郡	81
	麟蹄郡	158
	高城郡	12
江原道	寧越郡	223
	襄陽郡	36
	江陵市	108
	洪川郡	63
	平昌郡	43
	束草市	1
	旌善郡	169
	横城郡	57
	三陟市	84
	原州市	66
忠清北道	太白市	13
	東海市	8
	丹陽郡	137
	堤川市	74
	報恩郡	73
	槐山郡	6
	陰城郡	1
	忠州市	93
	尚州市	63
	蔚珍郡	29
慶尚北道	開慶市	54
	栄州市	5
	醴泉郡	7
	奉化郡	13
	盈徳郡	3
合計	3,038	

※ 韓国当局公表資料等の情報を元に作成
 飼養頭数：FAO統計(2021)による
 赤字は更新箇所